

令和元年度倉敷市産学共同研究事業の研究テーマ募集について

産学共同研究推進委員会では、平成16年度より市内の繊維関連企業等と倉敷市立短期大学の研究者が共同して行う産学共同研究を実施しており、令和元年度は2の研究テーマに基づき、倉敷市立短期大学の研究者と共同研究を希望する市内の繊維関連企業等を募集します。

産学連携による共同研究により、企業側は新たな製品開発のきっかけが生まれるといったメリットや自社製品の品質向上があり、大学側は今の繊維産業の現状を把握し、現状に即した有益な研究テーマの発掘ができるといったメリットがあります。

なお、これまでの研究テーマは、次のとおりです。

年度	共同研究相手企業	研 究 テ ー マ
30年	はるやま商事(株)	「衣料品の快適性に関する研究」
29年	(株)ショーワ	「デニムを用いたフォーマルウェアの可能性についての研究」
28年	(株)バイストン	「帆布を素材とした商品開発のための市場調査とアンケート調査のデータ分析」
27年	明石被服興業(株)	「快適で着心地の良い高校制服(ブレザー)の企画開発」
26年	林源十郎商店	「倉敷におけるコミュニケーションデザインのための研究」
25年	つちや産業(株)	「着心地の良いタクシードライバーの制服」
24年	松井織物(株)	「昼縁を生かした商品開発のための研究」
23年	石井織物工場	「倉敷児島の地場産業である綿織物の新しい活用と挑戦」
22年	(株)ウチダ	「LED 照明光下における演色性について」
21年	高城染工場	「天然染色の可能性の探求」
20年	(株)バイストン	「倉敷市立短期大学学生と企業相互の直接的コミュニケーションによる、歴史ある帆布の特性を生かした新商品開発の為の共同研究」
19年	(株)ベティスミス及び (株)バイストン	「倉敷市立短期大学の学生が提案する商品の開発を通じて地域と企業と大学の係わり」
18年	明石被服興業(株)	「撥水性衣服内部の急激な温度上昇を防ぐ立体通気孔(ベンチレーション)を設置した雨ガッパの開発」
17年	(株)金星	「快適な防弾ベストカバーの開発」
16年	(株)ビッグジョン	「ジーンズ素材の年代別フィット感と快適性の追求」

1 事業の概要について

「倉敷市産学共同研究事業」とは、倉敷市が実施する事業で、市内の繊維関連企業と倉敷市立短期大学が連携して市内の繊維産業が抱える諸問題を解決することを目的としています。

本事業を倉敷市から委託された民間と大学関係者からなる「産学共同研究推進委員会」が、毎年度研究方針を策定し、企業から提出されたテーマについて検討し、本年度の研究テーマ（企業）を決定します。研究期間は1年弱で、本年度末までに共同研究者は産学共同研究委員会に研究成果報告書を提出します。なお、研究成果は一般に公表される予定です。

2 令和元年度の研究テーマ

「服飾材料の新たな活用方法と科学的検証」

3 研究テーマ（企業）の募集方法について

別紙の「産学共同研究申込書」を次のとおり提出してください。

(1) 募集期間（応募期間）

令和元年6月17日（月）～6月21日（金）

(2) 応募資格

倉敷市内に本店もしくは事業所を有する繊維関連企業

(3) 申込書提出先

- ・ 倉敷市立短期大学事務局

〒711-0937 倉敷市児島稗田町160 TEL (086) 473-1860

- ・ 倉敷ファッションセンター

〒711-8555 倉敷市児島駅前1丁目46 TEL (086) 474-6800

※ 申込書は、6月21日の17時15分までに上記の何れかに持参または郵送等により、ご提出（必着）願います。

4 研究テーマの決定について

募集期間終了後に申請書類に基づき応募企業と事前協議を行い、7月19日までに産学共同研究推進委員会で決定します。

5 研究期間について

産学共同研究推進委員会決定後～令和2年3月31日

令和2年3月31日までに研究報告書を提出していただきます。

6 研究費用の負担について

企業は企業研究者の人的費用及び研究資材費等を負担、大学は大学研究者の人的費用、大学研究設備の経費（測定用消耗品等）及び研究助手・被験者への謝礼等を負担し、その他の経費については、必要に応じて企業及び大学で協議します。なお、原則として、大学の負担は、大学研究者の人的費用を除き最大46万円とします。

7 お問い合わせ先

倉敷市立短期大学事務局 担当：木村 TEL (086) 473-1860